

公益財団法人 田附興風会 医学研究所
北野病院 病院長

吉村 長久

新年のご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。
新しい年を迎えるということは、大変清々しく、希望に満ちた嬉しいことです。今年も北野病院は清々しい気持ちで、希望を持って精進して行きたいと思えます。

さて、本年は北野病院にとって、大きな節目の年となります。そうです、いよいよ新棟の建築が始まります。構想を決めるのに随分と時間がかかりましたが、2019年秋ごろには新棟が完成し、その後は本館の整備工事を始めなければなりません。北野病院が更に高度で良い医療を提供できるような本館整備計画を作ることが本年最大の課題です。そして、数年後には、新しい医療に対応できるようなハードウェアが出来上がります。



変わるのは建物だけではありません。北野病院には1,500名を超える職員が在職していますので、常に職員の異動があります。医師はもちろん、看護職員も事務職員も常に異動しています。昨年は看護統括部長、事務統括部長の異動がありました。滑り出しは大変心配しましたが、両部門ともに大きなトラブルなく新しい体制が動き出してくれて一安心です。医師の異動は大きな問題です。本院は京都大学との関係が強いいためか、他病院と比べて医師の平均在職期間が短いことが特徴です。これは困ったことですが、大学との関係が強いからこそ、この医師不足の時代にも比較的余裕のある医師数を確保できているのでしょう。地域の先生方には、医師の異動のたびに誰が専門であるのか分かりにくく、ご迷惑をお掛けしていることと思います。また、長年勤務してくれた事務職員・看護職員が異動して地域医療サービスセンターの姿が分かりにくいということもあるかも知れません。しかし、昨年のお挨拶にも書かせていただいたように、地域医療サービスセンターの重要性は以前にも増して大きくなってきています。病院全体として地域医療サービスセンターのてこ入れを行い、以前よりも迅速に、そして丁寧に北野病院の今の姿が分かるような情報発信を心がけて行きたいと思っています。

本年も何卒、宜しく願い申し上げます。

就任のご挨拶

集中治療部 主任部長

宮崎 嘉也

この度、2017年10月1日付で集中治療部主任部長を拝命致しました。北野病院集中治療部（ICU）は2006年から稼動した新部門でしたが、私が専従医師となって早11年目になりました。現在では、術後外科系症例を中心として、救急・院内発症の重症例が集約される部門として順調に成長してきたと思います。



当院集中治療部では集中治療医が中心となって全身管理を担当し、専門性の高い分野を担当医が行う semi-closed システムをとっています。このことにより、安定した患者管理と統一性のある集中治療室運営が可能になりました。しかし、多岐にわたる重症患者管理には、各診療科・看護部・薬剤部・臨床工学部・リハビリテーションセンター・栄養部などの他部門との連携が不可欠です。今後も他部門と情報交換しながら、より高度な医療をコンスタントに提供できるように努力していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

就任のご挨拶

不整脈科 主任部長

春名 徹也

従来、心臓センター循環器内科不整脈担当として勤務して参りましたが、2017年10月1日付で、循環器内科から専門分科し、心臓センター不整脈科主任部長を拝命いたしました。

私は、京都大学大学院にて、虚血心筋における心臓電気生理で学位を取得致しました。2002年に北野病院循環器内科に着任し、2006～2008年滋賀県立成人病センター（現滋賀県立総合病院）での勤務を経て、主に不整脈に対するアブレーション治療（心房細動・心室頻拍）、虚血性心疾患等における致死的心室性不整脈管理、心不全に対する特殊ペースメーカー手術に携わって参りました。



昨今、増加する心房細動は、脳梗塞の原因となる以外にも、他の心臓疾患に合併し、主たる心不全増悪因子となり、心不全管理を困難にさせております。それに対し、早期のアブレーション治療は、根治が期待できる唯一の治療で、我々は、特に積極的に取り組んでおります。加えて、今後も最新不整脈治療を導入予定でおりますので、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いします。

就任のご挨拶

麻酔科 部長 黒寄 明子

この度、2017年10月1日付で麻酔科部長を拝命いたしました。小児科・皮膚科を経て、卒後10年目の1996年より麻酔科医となり、4年間の静岡県立こども病院、2年9ヶ月間の兵庫県立こども病院勤務と小児科研修の経験を活かし、主に小児を中心に手術室麻酔の仕事に携わってまいりました。縁あって2011年8月より北野病院麻酔科に勤務し、小児だけでなく、全ての患者様に安全な麻酔を提供し、術後疼痛等の苦痛を軽減できるように、スタッフとともに日々努めております。



「手術はしてもらいたいけど、麻酔がこわい。」という言葉をよく耳にします。子供の手術は小児麻酔に精通したところで行うべきであると言われており、ご期待に応えられますように、これまで以上に精進していく所存でございます。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

小児外科 部長 諸富 嘉樹

2018年1月1日付で小児外科部長として着任いたしました。前任地の大阪市立大学を含めて30年間小児外科診療の経験を積んでまいりました。日本小児外科指導医・専門医および日本小児泌尿器科学会認定医を取得しており、小児外科疾患全般にわたり対応可能です。小児外科のcommon diseaseである鼠経ヘルニアにも鏡視下手術を取り入れており、こどもに負担の少ない手術を行なっています。



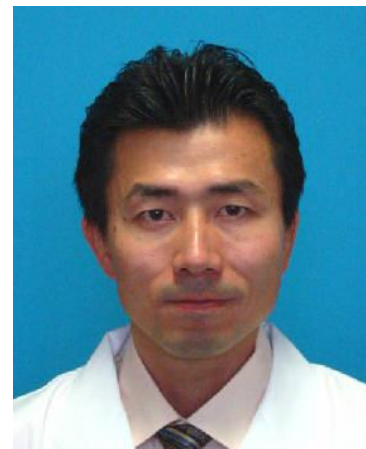
充実した小児医療のためには小児科とともに手術を担当する小児外科医もフットワークよく急性疾患に対応していく必要性を痛感しています。また手術を要する疾患だけではなく、便秘に対する排便管理、臍ヘルニアの保存療法、包皮ストレッチ、創傷治療、乳児痔瘻などにも対応しております。潜在患者が多い漏斗胸に対して積極的にNuss手術（胸腔鏡下胸骨挙上術）を行なっております。小児外科が関与する疾患かな、と思われましたらお気軽にご紹介いただきたくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

消化器センター 外科 部長 上田 修吾

この度 2018 年 1 月 1 日付で消化器センター外科部長を拝命しました。2005 年より北野病院に勤務し、地域の先生方には平素よりお世話になっております。

胃癌、食道癌に対する手術や抗癌剤治療を専門としており、早期癌に対しては低侵襲な腹腔鏡手術を行います。最近心臓や呼吸器に病気をお持ちの高齢患者さんの手術が増えており、各診療科・部門と協力しリハビリや栄養管理しながら安全な手術を行います。ガイドラインに沿ったエビデンスのある治療をふまえた上で、個々の患者さんの病態にあわせて最善かつ最先端の治療を提供します。



新規治療法を開発するため、他施設と協力して積極的に臨床試験を実施しています。進行癌に対する術前化学療法、難治性の腹膜播種胃癌に対する腹腔内化学療法(先進医療)、食道癌を対象にワクチンなど免疫治療開発に取り組んできました。若手外科医の教育、育成も積極的に行います。皆様の御期待にそえますよう精進しますので、どうぞよろしくお願い致します。

入院支援センターのご紹介

地域医療サービスセンター 看護師長 旗手 瑞子

平素より患者様のご紹介ありがとうございます。

当院では 2016 年 9 月より患者様やご家族が安心して入院できるように看護師による入院説明コーナーを開始し、各部門と連携を取りながら患者の支援を行って参りました。その支援体制を強化し、2017 年 8 月より 1 階地域医療サービスセンター前に体制も新たに入院支援センターを開設いたしました。

入院支援センターでは、看護師による面談に加えて薬剤師による持参薬・休止薬の確認を行っています。入院前より身体的・精神的・社会的・経済的な問題など必要な情報を確認し、病棟や外来・地域医療サービスセンターなど他部署・多職種と連携を行い、安心・安全な入院生活と退院後の生活を見据えた支援を行っています。

超高齢化社会を向かえ、様々な理由で安全な入院治療を妨げる要因をお持ちの患者様や退院困難な患者様は増えています。今後は患者様やご家族に満足いただけるように、医師・看護師・薬剤師だけでなく、ソーシャルワーカー・管理栄養士・理学療法士などの多職種が一つのチームとして共に活動し、連携をしながら患者を支援できる体制づくりを考えております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



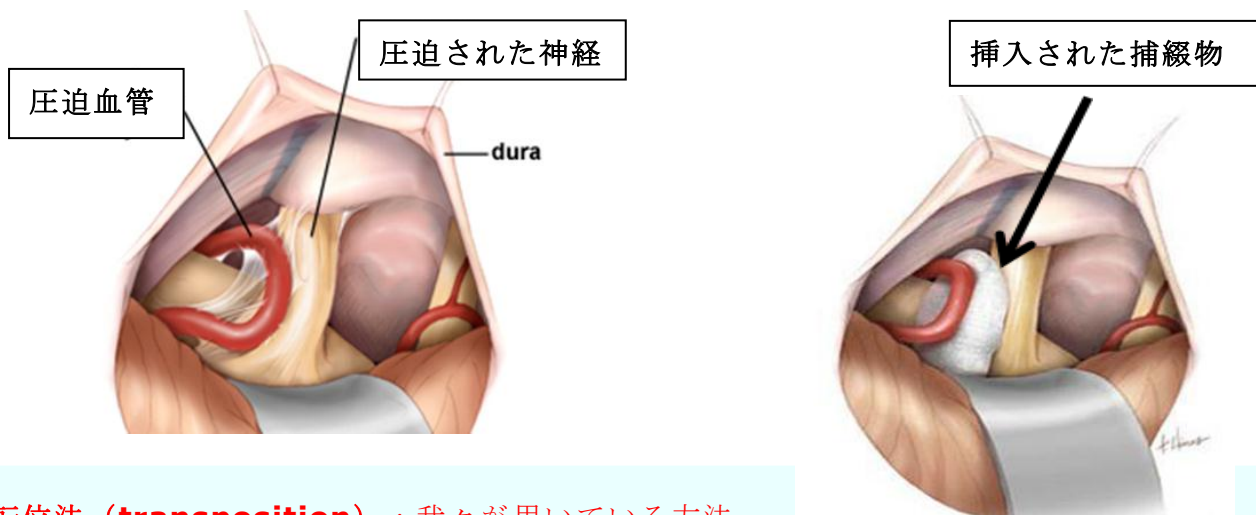
三叉神経痛と片側顔面痙攣に対する微小血管減圧術：北野病院での工夫

神経センター 脳神経外科 主任部長 岩崎 孝一

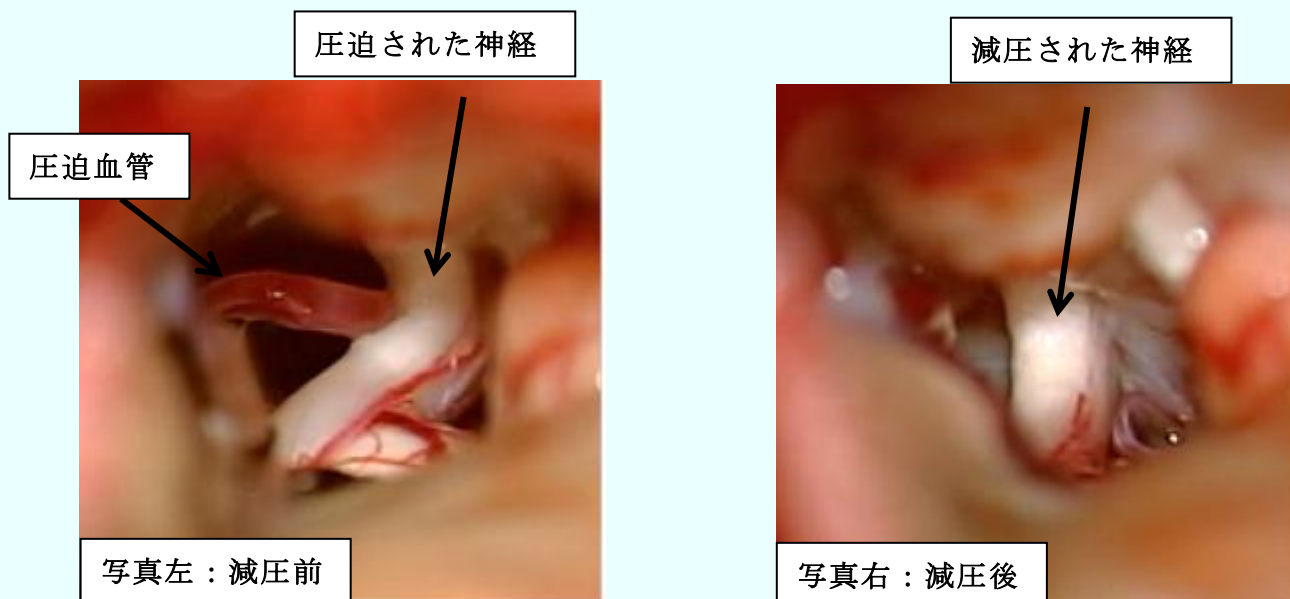
三叉神経痛・片側顔面痙攣共に、当該神経が脳の血管と接触し圧迫されることが直接の原因です。従って、完治を得る為には圧迫に関与している血管を神経から離し圧迫を解除することが有効で、この手術を微小血管減圧術 (microvascular decompression: MVD) といいます。

手術は、耳介後方に直径が百円玉ほどの小開頭を設けて、手術用顕微鏡を用いて行います。血管を神経から慎重に遊離した後再び神経と接触しないようにするには主に2つの方法があります。一般的には神経と血管の間にテフロンのような人工の補綴物を挿入する方法 (interposition) が用いられていますが、我々は補綴物を用いずに移動した血管を医療用接着剤で周囲の組織に固定する転位法 (transposition) を用いています。

- 挿入法 (interposition) : 一般的に行われている神経と血管の間にテフロンなどの人工の補綴物を挿入する方法。我々はこの方法を用いていない。



- 転位法 (transposition) : 我々が用いている方法。



三叉神経が圧迫血管により、逆くの字に屈曲している

移動した血管を医療用接着剤で周囲の組織に固定した。屈曲していた神経が減圧され真っ直ぐになっているが、挿入物は用いていない。

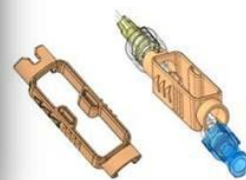
その理由は、補綴物など異物を使用すると、術後しばらく経過してから生体内での異物反応により、神経と血管の間に癒着が生じて症状の再発の原因になることがあるからです。

北野病院には全国から患者さんが集まり年間約100例のMVDを行っていますので、執刀医だけでなく麻酔医・手術看護師など全てのスタッフがこの手術に熟達し、豊富な経験に基づいたノウハウを駆使して、極めて安全で確実な手術を行っています。そのひとつの例として、脳の深部で医療用接着剤を安全確実に使用するための“微量滴下ノズル・アタッチメント”などを考案し使用しています。

また、この手術で発生しうる後遺症である聴覚障害を回避するため、聴性脳幹反応や異常筋反応などの術中モニタリングを用い、更にはより繊細な手技を可能にする神経内視鏡も積極的に使用しています。

我々が考案した“微量滴下ノズル・アタッチメント”

Medical Device 脳神経外科領域



【フィブリン糊 微量滴下ノズル】

【手振れ防止アタッチメント】

- フィブリン糊を一滴ずつ正確に滴下できる
- ノズルを曲げることで、脳の深部まで容易にアプローチができる
- 適応手術： 微小血管減圧術、動脈瘤クリッピング、頭蓋底手術など

「院外処方せんにおける事前合意プロトコル」の運用について

薬剤部 部長 尾上 雅英

薬剤師による疑義照会は医薬品の適正使用上、薬剤師法に基づく極めて重要な業務です。患者さん個々の病状や検査値を勘案した疑義照会・処方提案はますます重要ですが、一方で、形式的な疑義照会も多く、患者さん・処方医師・薬局薬剤師それぞれにご負担をかけている場合が見受けられます。

そこで当院では、2010年4月30日付厚生労働省医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」を踏まえ、プロトコルに基づく薬物治療管理の一環として、調剤上の典型的な変更に伴う疑義照会を減らし、患者への薬学的ケアの充実および処方医師の負担軽減を図る目的で「院外処方せんにおける事前合意プロトコル」の運用を開始しました。

本取組みにより、患者さん個々の病状に応じた疑義照会は増えてきましたが、事前合意の項目については、医師への問い合わせが減少し、さらに開業医の先生方にもこの取組みが浸透し、病薬連携の強化に繋がればと考えています。

登録薬局番号 00001

登録番号をヘッダに

事前合意プロトコル専用 FAX 送信状

平成 年 月 日

北野病院 御中

〇〇薬局
 大阪市北区〇〇町
 TEL:06-0000-0000
 FAX:06-0000-0000
 担当:

薬局名、TEL、FAX、担当を記載

合意書に基づき下記の通り報告します。

送信枚数: _____ 枚 (送信状含む)

【患者番号・氏名】 _____

【変更理由】 合意事項① 合意事項② 合意事項③ 合意事項④
 合意事項⑤ 合意事項⑥ 合意事項⑦

【変更内容】 別紙に記載の通り

薬剤師が行う医師への「問い合わせ」

第23条(処方せんによる調剤)

薬剤師は、医師、歯科医師又は獣医師の処方せんによらなければ、販売又は授与の目的で調剤してはならない。

2薬剤師は、処方せんに記載された医薬品につき、その処方せンを交付した医師、歯科医師又は獣医師の同意を得た場合を除くほか、これを変更して調剤してはならない。

院外処方せんにおける事前合意プロトコル
(処方規格の変更など)

第24条(処方せん中の疑義)

薬剤師は、処方せん中に疑わしい点があるときは、その処方せんを交付した医師、歯科医師又は獣医師に問い合わせ、その疑わしい点を確かめた後でなければ、これによって調剤してはならない。

疑義照会
(相互作用など)

院外処方せんにおける事前合意プロトコル (院外処方せんにおける処方医への問い合わせ不要項目)

＜原則＞

- ◆在庫がないことを理由とする処方変更は不可とする。
- ◆麻薬及び覚せい剤原料は下記合意項目に関わらず疑義照会をする。
- ◆アドヒアランス向上に資する安定性、利便性向上のための変更に限る。

- ①成分名が同一の銘柄変更
- ②剤形の変更
- ③別規格製剤がある場合の処方規格の変更
- ④処方製剤をコンプライアンス等の理由により無料で半割、粉碎あるいは混合すること、あるいはその逆(規格追加も含む)。(抗腫瘍剤を除く)
- ⑤患者希望あるいはコンプライアンス等の理由により無料で一包化調剤すること。
- ⑥経過措置などによる一般名への変更による名称変更
- ⑦薬歴上継続処方されている処方薬に残薬があるため、投与日数を調整(短縮)して調剤すること(外用剤の数量の変更も含む)

栄養サポートチームのご紹介

看護師長 井下 春美

当院の栄養サポートチーム（NST）は、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・言語聴覚士で構成され、患者さまに適切な栄養管理を提供する為のチームです。入院患者さまが、病状や治療のために十分な栄養が経口摂取できない場合などの適切な栄養補給の提案、手術などの術後合併症の予防ため、術前からの計画的な栄養管理の提案なども行っています。この活動により栄養状態の改善、治療効果の向上、合併症の予防し、QOLの向上、在院日数の短縮などを目標として活動しております。毎週木曜日にチームで病棟ラウンドを行い、患者さまのベッドサイドに訪室、他職種チームでカンファレンスを行い栄養管理の提案を行います。毎月院内で開催している勉強会では、外部講師などを招き、栄養管理についての啓蒙活動も行っております。



カンファレンス風景



チームメンバー

がんリハビリテーションチームのご紹介

作業療法士 小林 千夏

当院におけるがんリハビリテーションは、手術前の早期介入から回復期、維持期あるいは緩和期に至る一貫したリハビリテーションの提供と病院各部門スタッフによる多角的な包括リハビリテーションをその特徴としております。この方針を推進する目的で設立された私たちがんリハビリテーションチームも医師・看護師・管理栄養士・MSW・事務職員およびリハビリテーションスタッフなどの多職種で構成され、各セクション内の勉強会や職種間の定期的なミーティング、各種研修会への参加促進と年数回の院内講演会の開催、緩和ケアチーム等関連する院内他チームとの情報交換などを通してリハビリテーションの質を高め、当院でがん治療を受けられる皆様のQOLの向上に努めております。



カンファレンス風景



チームメンバー

ほっこり会がん患者ボランティア主催 Happy Christmas Party!! を終えて

発起人 田井 理恵子

「北野病院がん患者サロンリボンズハウスほっこり会」は、北野病院の看護師さんやソーシャルワーカーさんなどと私たちボランティアも参加し、がん患者さんのために活動をしています。その中で「患者さんによる患者さんとご家族と一緒に楽しめるイベント」をと、「Happy Christmas Party!!」を12月11日に開催する運びとなりました。

イベントの運営協力を呼びかけたところ、23名ものボランティアの方々にご協力を頂きました。イベントではフェイシャルマッサージなどの体験型ワークショップ、アロマ石鹸作りなどの物づくりワークショップ、ウィッグ相談コーナーが華を添えて下さいました。乳腺外科・吉本先生のご講演も分かりやすく、参加者は真剣に耳を傾けていました。

ビンゴ大会は、患者さん・ボランティアさん等から合計196点もの景品のご寄付を頂き、大変盛り上がりました。

イベント開催にあたり、必要な経費捻出のため参加費を頂く方法での開催でしたが、ボランティアさん・病院スタッフさんが一緒に盛り上げ、参加された患者さんも笑顔が絶えない時間を過ごすことが出来ました。今回の経験を今後のほっこり会活動に生かしていきたいと思っています。



北野病院 がん患者サロン
リボンズハウス ほっこり会主催
クリスマスイベント

2017
Happy 12/11
Christmas Party!!

日時 12月11日(月) 11:00~15:00

場所 北野病院5階 さたのホール

対象者 全ての患者様とそのご家族様

入場料 お一人様900円(小学生以下は無料)
※ビンゴゲーム、体験型ワークショップの参加費、お茶・お菓子つき
※出入り自由、再入場可。
※クリスマスエッセイ募集と一部の相談窓口のみご利用は無料

内容 体験型ワークショップ: マッサージ、ネイルケアなど **★無料**

当日のスケジュール予定
12時~ビンゴゲーム1回目
13時~乳腺外科医・看護師によるクリスマスエッセイ発表会
14時~ビンゴゲーム2回目

企画・運営 ほっこり会サバイバーボランティア【共催】北野病院 がん相談支援センター がん診療委員会

お問合せ: TEL 06-6312-1221 (代表) 北野病院庶務課 ボランティア担当 泉



ISO9001 : 2015 認証取得しました

北野病院

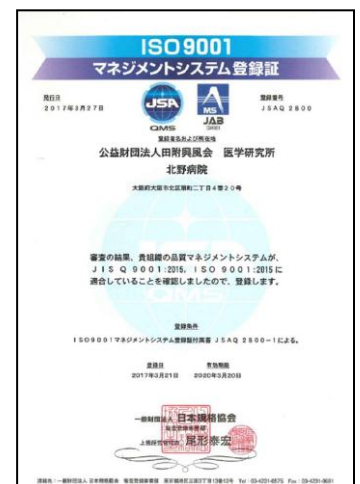
ISO 事務局

当院では「品質マネジメントシステムを構築し、より質の高い医療の実践と顧客の満足を目指す」ことを目標に、2017年3月21日 第三者認証機関の審査を受け、「ISO9001 : 2015」を認証取得しました。

ISO9001の主な目的は「顧客満足度の向上」並びに「継続的改善」ですが、具体的な活動としては、業務プロセスの可視化・標準化やお互いの業務を確認し合う内部監査などを実施しています。

システム導入時には、規格が要求する難解な言葉を一語一句理解することから始まり、文書整理など大変な局面もありましたが、職員が同じ目的に向かって一丸となり取り組むことで他部門との相互理解も深まり、コミュニケーションをはかるとても良い機会になりました。

「ISO9001 : 2015」を導入し、システムを維持していくことで、地域の基幹病院として、今後もさらに安心・安全で質の高い医療の提供に取り組んで参ります。



医師の人事情報（副部長以上）

退職（2017年9月末）

氏名	職位
吉野 琢哉（よしの たくや）	消化器センター内科副部長

昇格（2017年10月1日付）

氏名	職位	専門分野
宮崎 嘉也（みやざき よしや）	集中治療部主任部長	疼痛治療、集中治療医学、麻酔全般
春名 徹也（はるな てつや）	心臓センター不整脈科主任部長	ペースメーカー植込み手術及び管理、不整脈、心臓再同期療法、不整脈カテーテルアブレーション、心臓除細動器、意識消失、虚血性心疾患
黒寄 明子（くろさき あきこ）	麻酔科部長	小児麻酔
上村 良（かみむら りょう）	消化器センター外科副部長	消化器外科一般、肝胆膵外科

入職（2018年1月1日付）

氏名	職位	専門分野
諸富 嘉樹（もろとみ よしき）	小児外科部長	小児外科、小児泌尿器

昇格（2018年1月1日付）

氏名	職位	専門分野
上田 修吾（うえだ しゅうご）	消化器センター外科部長	消化器外科、胃・食道外科、胃癌、食道癌、GIST（消化管間質腫瘍）、癌化学療法、腹腔鏡手術

北野病院公式 Facebook の QR コードができました！



携帯電話やスマートフォンから手軽にアクセスいただけます。
日々情報を更新しておりますので、是非ご覧下さい。

